News Release

2025 年 12 月 23 日

山陽特殊製鋼株式会社

オフサイトＰＰＡによる再エネ電力の調達を開始

山陽特殊製鋼株式会社(本社：兵庫県姫路市、代表取締役社長：福田 和久)は、大阪ガス株式会社の代理店である Daigas エナジー株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：福谷 博善）を通じてオフサイト PPA モデル(※1)を活用した再生可能エネルギー電力の購入に関する契約を締結しました。2025 年 12 月 19 日より運転を開始した姫路市内の太陽光発電設備で発電された電力を購入します。

このたびの PPA モデルにおいて活用する太陽光発電設備の設備容量は 7,260kW で、発電される約 1,000 万 kWh/年の再生可能エネルギー電力は当社本社工場における使用電力の約 1％に相当し、当社は年間約 4,200 トンの GHG 排出量(※2)を削減できる見込みです。

2024 年度以降、兵庫県内の水力発電所由来の再生可能エネルギー電力活用やオンサイトＰＰＡ方式の太陽光発電を開始しており、今回のオフサイト PPA を合わせると、再生可能エネルギー電力は当社本社工場の使用電力の約６％に達し、年間約 21,460 トンのＧＨＧ排出量を削減できることになります。

昨今、地域の特徴も踏まえた多様な供給力（再生可能エネルギー、コージェネレーション等）を組み合わせて最適に活用することで、エネルギー供給のリスク分散やＧＨＧの排出削減を図ろうとする機運が高まっており、電力の地産地消を推し進める取り組みになっております。

当社は、2030 年度の達成目標として、自社で排出する Scope1、２に該当する GHG 排出量を 2021 年度比 42％削減することとあわせて、Scope3 に該当する GHG 排出量を 2021 年度比 25％削減することを掲げており、製造現場を中心とした全社の省エネ対策やエネルギー効率を高めるエコプロセス、水力発電由来の再生可能エネルギーを含めたグリーンエネルギー活用等を推進してまいります。

※1 オフサイト PPA(Power Purchase Agreement)モデル：電力使用者が、太陽光発電設備の所有・管理を行う事業者との契約により、事業敷地外に太陽光発電設備を設置し、発電された電力を一般の電力系統を介して電力使用者に供給する契約形態。

※2 Greenhouse Gas の略称。地球温暖化の原因となる温室効果ガスである、二酸化炭素(CO_2)、メタン(CH_4)、一酸化二窒素(N_2O)、ハイドロフルオロカーボン類(HFCs)、パーフルオロカーボン類(PFCs)、六フッ化硫黄(SF_6)、三フッ化窒素(NF_3)の７種類をさす

以上

≪お問い合わせ先≫

山陽特殊製鋼株式会社 総務部広報・サステナビリティグループ（TEL：079-235-6002）